

■ 前期・第4期（2015～2017年度）までに

- EPO中部では、中部における地域環境活動の協働促進を目的として「協働コーディネーター」の育成支援を展開。

コーディネーターとは

…様々なネットワークの要となり、参加と協働をデザインしていく専門家

協働コーディネーターの役割

…①ファシリテーター、②コーディネーター、③評価のアセッサー（特に協働評価の評価者）

「協働コーディネーター～参加型協働社会を拓く新しい職能～」世古一穂・編著（ぎょうせい）

EPO中部・協働コーディネーター：

中部エリアにおいて、EPO 中部と共に「協働」を追求し、「協働」を楽しみ、持続可能な社会づくりを進める地域のお手伝いをしていただける方

- 7県×3人・計21名がEPO中部・協働コーディネーターとしてEPO中部の協働に関わる研究・研修に協力。

■ 今期・第5期（2018～2020年度）においても

- 第五次環境基本計画で「地域循環共生圏」の構築が示されたことを受けて、協働やSDGs活用を含めた地域環境活動を支援・促進することとし、地域の人材である協働コーディネーターの活躍方策を検討。
- 第5期からも16名の協働コーディネーターが引続き、EPO中部への協力を継続。

16名のコーディネーター>>>パンフレット「協働による地域循環共生圏づくり」参照。

- EPO中部「協働コーディネーター連絡会（全3回）」の会議を経て、2019年度に「**地域循環共生圏づくり研究会（EPO中部）**」を立ち上げ。

EPO中部・協働コーディネーターの今後の展開イメージ

NPO等地域活動主体

- 各々の活動の支援・調整
- 各種申請書類の作成指導
- 地域循環共生圏関連事業等の実施支援
- SDGs関連が要件となっている事業・助成制度への応募・実施の支援

自治体等行政機関

- 総合計画、環境基本計画等の計画策定における参画、諮問会議へ有識者として出席
- 個別の事業・取組、広報、イベント開催等の企画・支援・調整・ファシリテーター など

企業その他団体

- SDGsの導入（チェックリスト活用）
- CSR活動関係の地域の支援、地域で活動、地域でのイベント開催 など

協働

コーディネーター

「地域循環共生圏」づくり研究会（仮）

EPO中部

EPO中部の役割

- 普及・啓発
- 仕組み・環境整備
- 有識者紹介など

環境省（中部地方環境事務所）

- 環境行政の最新動向情報の共有
- 地域循環共生圏（関連事業）の地域への周知・自治体等の取組支援
- 地域の環境活動支援、協働促進

コーディネーターの職能

- 協働コーディネート活動見える化プログラム（仮称）の活用
- SDGsマッチングコンサルテーション
- 地域循環共生圏づくり支援

参考資料) パンフレット「協働による地域循環共生圏づくり」

2 EPO中部で活躍中の「協働」コーディネーター

■ EPO中部・協働コーディネーターの皆さん

第5期(2018～2020年度)のEPO中部では、16名の協働コーディネーターが引き続き、EPO中部の活動に協力いただきながら、各地で活躍されています。

地域	名前	所属先等
高山県	茶木 勝	株式会社ティーマ・フリー・コミュニケーションズ代表取締役
	中川 透	緑の自然エネルギー推進協議会
	堺 勇人	環境未来局
石川県	中里 浩	環境未来局
	山崎 浩二	環境未来局

■ 協働コーディネーター連絡会の開催

協働コーディネーターの皆さんが集まる場として「協働コーディネーター連絡会」を2018年度に3回開催しました。会議では、協働コーディネーターの取組の方向性や「活動見える化プログラム」について検討し、2019年度に「地域循環共生圏づくり研究会(EPO中部)」を立ち上げることが決まりました。

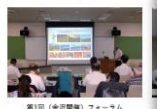


第2回協働コーディネーター連絡会での様子

■ 協働コーディネーターの皆さんの取組をご紹介します

2018年度にEPO中部は「協働促進のためのフォーラム」を開催し、協働コーディネーターによる取組・活動紹介を行いました。2018年度のフォーラムは、北陸、併州、東海で各1回・計3回開催し、計8名のコーディネーターにご登壇いただきました。2019年度以降も同様のフォーラム等を開催し、コーディネーターの皆さんに取組・活動を紹介する場を設けていく予定です。

フォーラム	事例/協働コーディネーター
第1回 北陸(金沢)	「コノノトリをシンボルとした福井県越前市における里地産品の保全再生の協働取組」 日野 健治 氏(越前市農政課のリーダー)
	「地域課題に対する金沢機関との協働取組の事例」 中野 茂 氏(環境未来局のリーダー)
第2回 併州(長野)	「SDGsでつなぐ山梨県と長野県」 山梨県 山梨県 氏(山梨県)
	「子どもたちがもたらす未来」 山梨県 山梨県 氏(山梨県)
第3回 東海(名古屋)	「地域課題の解決にむけて」 山梨県 山梨県 氏(山梨県)
	「とよみエコライフ」 山梨県 山梨県 氏(山梨県)

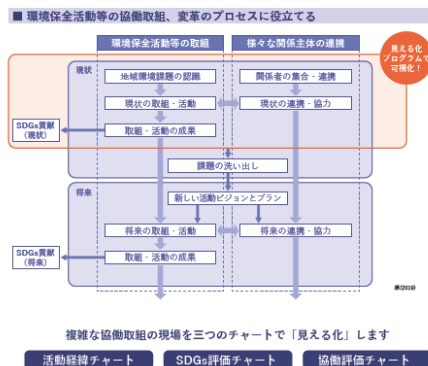


第1回(金沢開催)フォーラム

3 EPO中部が構築中! 複様な協働取組を可視化する「活動見える化プログラム」

いろいろな地域で問題解決のため行われている協働取組は、多くのステークホルダーが関係しており、活動が多岐にわたります。そのため担当者が見えにくい取組は一部でしかなく、全体を説明することが難しいことも少なくありません。また実施している取組が重複しているところも少なくありません。この分野に共通していることに気が付かないこともあります。特に現在注目されているSDGsを念頭に置いた取組は、地域における持続可能性の社会の構築に不可欠で、実践している協働取組がどのように貢献しているかを認識することが重要です。

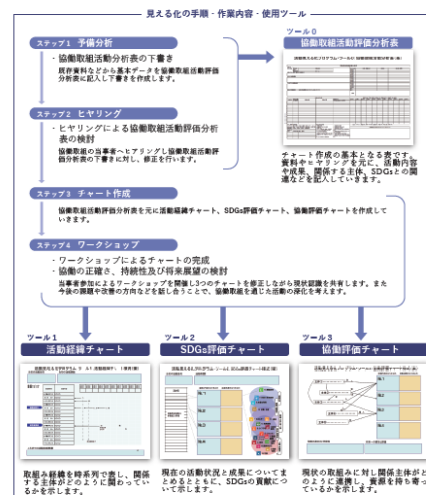
EPO中部では協働取組の支援のため、「活動見える化プログラム」を構築しています。これは協働・ESD・SDGsに関連する活動効果や活動におけるSDGs要素を可視化するためのツールと手順をまとめたものです。このプログラムの実施を通じて、対象となる活動がどのような経緯で行われてきたか、現在どのように進捗しているか、SDGsにどのように関わっているか、など「可視化」することで活動当事者は内容を改めて認識することができます。その結果として、協働の取組を発展させ、関係者の今後の取組に活かしていただければと考えています。



EPO中部・協働コーディネーター及び「見える化プログラム」については、こちらのパンフレットをご参照ください。

■ 「活動見える化プログラム」の手順と様式

このプログラムは下のような手順を基本としています。「協働取組活動評価分析表」に記入した内容を元に、「活動経緯チャート」、「SDGs評価チャート」、「協働評価チャート」を作成していきます。この過程で、プログラム実施者はヒヤリングやワークショップなどを行い、取組を行っている当事者と話し合いながら、活動内容の正確な気づきや理解を支援します。



★ EPO中部では、今後も協働コーディネーターとともに実証研究を行いながらプログラムを改善していきます。このプログラムを使いたいと思われる方はEPO中部までご相談ください。